4J04　岩崎悠紀

３章　文章作成の知的テクニック

6月4日(月)に解いた問題

301

なぜなら，それは

302

それもと，または，もしくは

303

(1)および，かつ，そして，それから，なおかつ，ならびに，また，または

(2)では，さて

304

(1)すると，そうすると，そうすれば，そこで，それだから，それゆえ，だから，よって

(2)けれども，しかしながら，だが，だけど，だけども，ただし，ところが，もっとも

305

なぜなら，人間は呼応することで心が通じ合ったと錯覚するから

306

(1)それに，高度なプログラムで生きているように錯覚させる．

(2)そのかわり，継続的に世話をしなければならない．

307

(1)なかでも，手足の微妙な動作がペットらしさを演出している．

(2)あるいは，単に「かわいい」と錯覚をしているだけかもしれない．

308

結局，その理由は

309

この場合，さらに．そうして，それだけでなく，つぎに

310

むしろ，否

311

しかし，ただし

312

動作が鈍すぎると「うとましさ」を感じる時もある．ただし，十人十色でそこがよいという人もいるだろう．

313

文章が煩雑となり，上滑りして理解度が落ちる

314

標準時刻電波の受信装置を内蔵している時刻の自動補正機能付き時計である電波時計の誤差は，原子時計と同じ10万年に1秒程度で，クオーツ時計よりも精度が高い．

315

・・・よりも精度が高い．列車の運転手・放送メディア関係者・天文学者・電子マーケティング・ネットセキュリティーなどに携わる者など，正確な時刻を感知する必要のある者にとっての必須アイテムである．

316

最近，「ドッグイヤーのIT産業」というキャッチフレーズが聞かれるようになった．犬の1年は，ちなみに寿命から判断して人間の7年に相当する．ドックイヤーとは，つまり技術革新の急速なスピードを表現する概念である．

317

(1)そして

(2)けれども

318

(1)バイオメトリックスとは人物照合システムのことである．それは，指紋・声紋・網膜パターンによって識別している．

(2)修正なし

319

単調で緩急がないためあまり迫力がない文章となっている．

320

これまでのインスリン受容体に関する研究論文では，遺伝子活性化の判定を線虫寿命の延長効果で確認している．しかし，本論文のインスリン受容体には，遺伝子変異細胞の使用を試みる．また，実験条件は前報で確立した最適条件で実施する．この分析は，細胞の特定遺伝子の活性化の有無を定量的に計測しようとするものである．

6月18日（月）に解いた問題

321

本研究の目的は，「機械加工のおける加工速度の影響」を実験的に解明しようとするものである．まず，実験では加工速度Vを3段階に変化させたときの3分力p，q，rと温度θを測定している．このときの3分力と温度はそれぞれ圧電型動力計とCA熱電対を用いて測定する．

322

いた，浴びるものだ，なったのである

323

文章が単独で完結していないためわかりづらい

324

我が国において，加速しており，さらに，失業率が急増していて，これらの要因に伴う

325

我が国では，超高齢化社会が急速に進展した．これに伴って，医療費負担人口が若年化している．一方，遺伝子治療に代表される高度医療技術が普及しつつある．このため，医療費の巨大化が加速された．さらに，最近の経済状況はデフレスパイラル現象に落ち込んだ．このデフレスパイラルによって，壮年層の失業率が急増している．以上の要因から医療保険制度の破綻が懸念されているのである．この段階で，医療保険制度の破綻回避の方策が用作検討されることになった．

326

文と文のつながりが分かりづらくなってしまう．

327

結晶体内部イオンの相対的位置の変化で発生する誘電分極が，外力負荷応力で生じた結晶を組み込んだ回路に電流が流れることが，圧電効果だと説明されている．本研究はこの圧電効果を結晶学的に解明しようとするものである．

328

(1)の方が強く印象付けられる．長文と短文を使い分けることが必要であった．

329

従来理論では，ダイヤモンドが超硬合金を切削する時に発生する切削温度による溶融超硬合金が凝着したダイヤモンドで，つぎに切削するときに超硬合金の凝着部がダイヤモンドを剥離することで磨耗が進行する現象をダイヤモンド剥離現象であると説明させていた．本研究の新知見では，このメカニズムの誤謬を解明している．

330

図番が文末にあるので内容が理解できない．

331

「図６に」を文頭に置き，文末の「図６にしめす」を消す．

332

「図６のように」だけではなく，「光ファイバーとは図６のように」のように説明もつけるとわかりやすい

333

(1),(2),(3)を箇条書きにするべきである．

334

二番目の「増加」を「増大」に，次を「変化」，「大きくなり」，「累積する」に順に変える．

335

図６に示すように，Aが小さくなるにしたがって，Bは減少する．すると，このBの変化に対して同様にCも推移し，最終的にはDも累減することにある．

336

図５のように，本論文では実データ圧力分布における積分値が示す最小の発生時間をT１と定義している．

337

IT技術者は音声認識が次世代の情報制御技術になりあると考えている．

338

大容量ハードディスクで映画や音楽を好きな時に視聴するビデオオンデマンド技術が開発されている．

339

IT戦略の最大ターゲットは，ネットワークにノートパソコンを携帯電話を用いて好きな場所からアクセスできるモバイルコンピューティングである．

340

現在，新情報処理技術である遺伝子アルゴリズムはAとBならびにCとDに応用されている

6月23日（土）に解いた問題

341

遺伝的アルゴリズムの応用例としては，以下のものがある．

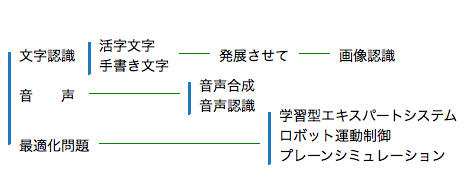
｜A　　　｜C

｜B――　｜D　　｜F

　　　　 ｜E―― ｜G

　　　　　　　　 ｜H

342



343

1. 修正の必要はない
2. 修正の必要はない

344

あまりにも煩雑である→プログラムを機械言語で記述するには，あまりにも煩雑である

345

Brainstormingつまりプレーンストーンミング法は米国人のA.F.オズボーンが1939年に考案したもので，創造的集団思考法と言われるように，企業あるいは大学などの研究開発・企画会議で出席者の自由なアイデアを噴出もしくは捻出させる発想法として広く普及している．

346

（以後，これをブレーンルールと呼ぶことにする）→（以後，ブレーンルール）

347

Aに反比例するBは，Cで変換される．

348

1. 質量に比例する慣性力は，加速度の比例する．
2. 慣性力は質量に比例し，加速度はその慣性力に比例する．
3. 慣性力は質量に比例し，さらに慣性力は加速度に比例する．
4. 加速度に比例する慣性力は，質量に比例する．

349

1. アナログ信号に変換するD-Aコンバーターは，送り機構を制御している．
2. D-Aコンバーターはアナログ信号に変換し，送り機構はそのD-Aコンバーターで制御されている．
3. D-Aコンバーターはアナログ信号に変換し，さらにD-Aコンバーターは送り機構を制御する．
4. 送り機構を制御するD-Aコンバーターは，アナログ信号に変換する．×

350

インスリンを投与することにより，より治験効果は向上する．

351

もしこれら→もし，これら　そのときには前述の→そのときには，前述の

352

例えばこの→例えば，この　しかもその→しかも，その

353

1. 非常においしい．
2. 集積回路の原料であるシリコンの調達に，多寡が生じた．
3. 捏造は断じて科学・技術論文でも許されない．
4. とうてい100%の治癒率などは，達成できないはずだ．

354

1. データ信号のノイズ発生場所は，かいもく見当は付かなかった．
2. ひずみ計に異常がないかぎり，地震を別段心配しなくてよい．
3. CTスキャンの画像処理で，やっと小さなガン病巣が見つかった．
4. 超新星爆発の瞬間を観測できるのは，めったにないことだ．

355

1. ゴミの深海底処分は，あたかも隣家の玄関にゴミを置き去りにするようなものだ．
2. 狂牛病はヨーロッパで猛威を振るったが，おそらく日本でも見つかる．
3. 原子力発電では，仮に誤作動したとき炉心溶融へは至らないための対策が不可欠である．

356

1. T社が発売する新車は，洗練されたデザインと走行性能の格段の向上が特徴である．
2. アミノ酸の性質では，たんぱく質の加水分解に力点をおいて解説していこう．
3. アパタイトは，見るからに人工骨剤や人工歯根になるような外観をしている．
4. 重大事故後，安全対策に関する顕著な改善が実行された．

357

1. 修正の必要はない．
2. 対応→対応している

358

がんの予防方法として，

1. 緑黄野菜を含む均整のとれた食事を摂取すること
2. 発がん物質を忌避し，さらに
3. 適度な運動と十分な睡眠をとること

などが挙げられる．

359

がんの予防方法として，以下のものが挙げられる．

1. 緑黄野菜を含む均整のとれた食事を摂取
2. 発がん物質を忌避
3. 適度な運動と十分な睡眠

340

インターネットサービスプロバイダーとは，インターネットの接続サービスをプロバイドすなわち提供する団体あるいは協会のことである．